



(実施概要)

地域コーディネーター養成講座 ぎのわん地域づくり塾2018



平成31年3月

主催：宜野湾市／社会福祉法人宜野湾市社会福祉協議会

協力：上大謝名自治会 共催：沖縄国際大学

アドバイザー：櫻井 常矢 教授（高崎経済大学）

企画・運営：NPO法人まちなか研究所わくわく

地域コーディネーター養成プログラム

これからの社会では、様々な分野で「一つの組織、団体では対応できない課題」が増えてきます。地域課題を共有し、互いに得意とするを持ち寄り、一緒に取り組むことで、課題解決を進める「協働による地域づくり」が求められています。「ひとりの困りごと」を「地域の困りごと」として、いろいろな人や力、資源をつなぎ合わせて、解決の動きをつくりだす地域コーディネーターとしての力を磨き合うために、平成28年度から開始し、第3期目となる「ぎのわん地域づくり塾2018」を開催しました。本塾では、講義、フィールドワーク、インタビュー、ゼミを通じて、モデル地区（宜野湾市上大謝名）の地域課題をとらえ、解決のための企画提案を行う過程から、地域コーディネーターを育成します。

地域づくりのプロセスを大切にする 地域コーディネーターの養成



講義

アドバイザーの櫻井先生やモデル地区の地域の方が講師となり、地域づくりのプロセス、地域の課題や資源について学びます。

ゼミ

塾生同士でチームに分かれ、対話を通じて、地域課題の仮説を立て、検証し、解決策の企画立案を行います。

フィールドワーク

地域課題や地域資源を発見し、確認し、掘り下げるため、モデル地区や他地区のフィールドワークを行います。

インタビュー

モデル地区の地域の方々へ地域での活動の現状をお聞きし、今ある取り組みと活動上の課題、地域の現状について聞き取りを行います。

3期塾生 32名修了 (要件：全8回講座中4回以上の出席)

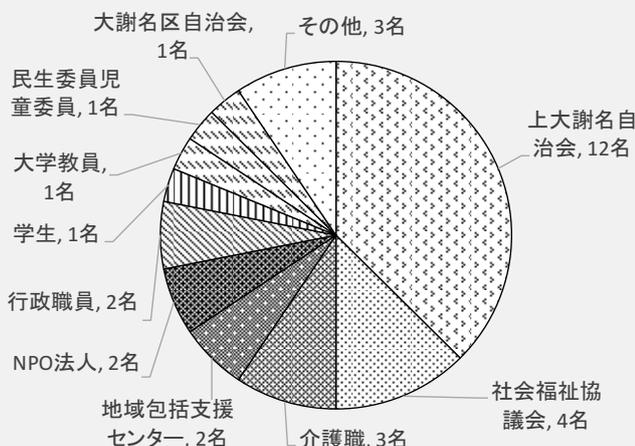
宜野湾市の協働による地域づくりに関心のある市内外の18歳以上の方を対象に、塾生の募集を行いました。その結果、第1回公開講座には69名の方々にご参加頂き、企画立案チームに所属した受講生は51名（女性：34名、男性：17名）でした。



翁長笑花さん
宜野湾市
社会福祉協議会
(20代)

多様な立場の方との意見交換

第3期は、地域に住んでいる方の参加も多く、よりリアルな地域課題や上大謝名の素晴らしさを直接聞くことができたので、最終発表に向けた企画提案をする際に、とても充実した議論ができたと思います。また、普段関わりのない人たちと出会い、それぞれの立場からの意見がきけることも、この塾の魅力だと思います。この繋がりを今後も良い形で残していきたいです。



第1・2・3期修了生 **93**名



**異業種、異分野の
メンバーがチームで
学び合う**

行政、民間、福祉、自治会等、異なる専門性を持つ方達とチームで学び合います。



**地域の現場（自治会エリア）
で学び、
地域へ提案する**

地域の方々とも話し合い、4ヶ月間かけて、地域の課題を探し、解決策を提案します。



**宜野湾市での
地域づくりの仲間と
ネットワーク**

塾生同士や地域の方達との関りだけでなく、修了生93名とのネットワークが広がります。

第3期のモデル地区（上大謝名）

宜野湾市上大謝名は、普天間基地の南西に位置し、人口は1,594人（平成30年）の地区です。昭和54年に大謝名区から発展分離して上大謝名自治会は設立されました。居住者の出身地の多くは沖縄本島内各地や離島、本土と多様であるため、上大謝名自治会は、常に住民間のコミュニケーションを図る事を第一とし、さまざまな活動を展開しています。自治会の加入世帯数は、773世帯の内、399世帯（加入率51.61%）（平成30年）となっています。



図の引用：宜野湾市市勢要覧 2014



児玉 光也さん
琉球大学
(40代)

外部者としての気付き

地域課題に取り組むにあたり、外部者の心がけを気付かせてくれ、地域の方々と共に問題を認識し、ワークする手法を体験しながら学ぶことで、身の丈にあった解決方法を導くことを経験できました。毎回、「ふりかえり」をくどいぐらいにやることの重要性を学びました。



平良 忍さん
上大謝名自治会
(60代)

発想を転換する必要性

従来のやり方で行ってもうまくいかない時には、まるっきり反対の事を検討する事も必要かと思いました。近視眼的でなく、大きく俯瞰的な眼でみていきたいです。

フィールドワークの大切さ

年代や仕事の差を超えて、様々なアイデアが出て、みんなで話し合っていて意見をまとめていく作業は楽しかったです、いい経験になりました。また、実際に地域を歩いたり、地域の方にインタビューすることから考える部分が多かったので、フィールドワークの大切さを学びました。



眞壁 由香さん
沖縄NGOセンター
(50代)

横との連携の大切さへの気付き

自分達の活動を進めていく中、横との連携を大切にすることに気付きました。また、一団団で活動してきたので、多くの地域活動に目配りできたらと思います。



波平 道子さん
上大謝名自治会
(60代)

自治会長がみる上大謝名の困りごと

第2回講座にて、上大謝名自治会の大城ちえ子会長から上大謝名の地域活動や歴史について教えていただき、現在の課題として、以下の4つの困りごとをご提示いただきました。

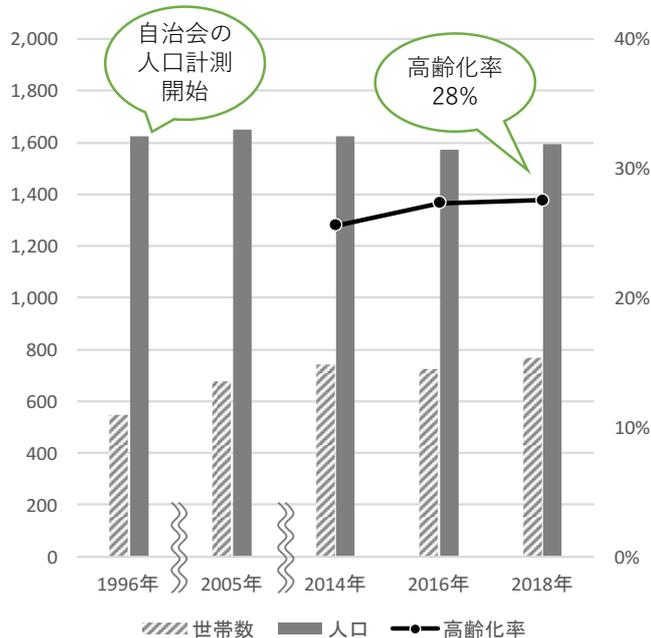


図 上大謝名の人口、世帯数、高齢化率推移

1. 新しい公民館利用者の拡大

公民館に来る方の顔ぶれが固定化しており、新しい参加者の広がりが薄い

2. 子ども会活動の活性化

子育て世代の「子ども会」への参加をどのように促すか

3. 地域の居場所づくり

県道34号線の反対側の方は、公民館まで足を運びづらい

4. 高齢者の体力維持

高齢化社会に備えた取り組みを継続的なものとして展開したい



大城 ちえ子 会長
上大謝名自治会

上大謝名の困りごとに応じた企画提案

塾生が、上大謝名の4つの困りごとの中からテーマを決め、チームごとに解決したい課題を設定し、解決に向けた企画提案を行いました。そして、平成30年10月21日（日）に、上大謝名の皆さんに向けて「地域の課題設定」、「解決方法（提案）」、「実現するプロセス」をふまえて、最終発表を行いました。

提案① 異世代マッチング

課題設定

子育て世代の人口割合が高いが、自治会への参加が少ない。交流したいがどうアプローチしてよいのか分からない。

解決方法（提案）

地域の団体の手を借りて、郷土料理（得意料理）教室を開催し、子育て世代を中心とした、異世代交流の機会をつくる。

実現するプロセス

①地域の各団体と事前打ち合わせ：料理講師をピックアップ、作業分担、スケジュール表作成、②実行、③反省会

チーム：アンダーみさご



提案② 上大謝名と大謝名 合同円卓会議

～子どもの居場所づくりを中心に～

課題設定

子ども達にとっては地域の垣根はなく、子どもの居場所づくりを同じ小学校校区である大謝名地域と合同で行う必要がある。

解決方法（提案）

多様な立場の方々と問題意識や活動内容を共有し、新たな活動を模索するために、上大謝名と大謝名の合同円卓会議を行う。

実現するプロセス

中学校区で選ばれる民生委員・児童委員を先導役とし、外部組織の協力を得ながら、より実現性の高い活動の提案を目指す。

チーム：くがにーず



企画発表に対する上大謝名住民のコメント



地域には色々な方がいると思うので、この企画が行われたら、活性化すると思います。上大謝名には外人さんが22名いるとのことですから、色々な世界の技も見れるかもと、楽しみになります。大変よいアイデアをありがとうございます。ぜひ、応援させてください。

老若男女集まるのが公民館、近年引っ越して来た方にもお声掛けをしながら、この地域の発展のために、100歳ぐらいまで公民館に来たいと思います。



私も音楽が好きなので、大賛成です。例えば、察度音頭や黄金宮音頭とか、それをミュージカル化して子ども劇を行うと、大変よいものができるかな、と感じました。

一番足りないのは、広報ではないかと思っていましたが、広範囲に人を集めて行うのは良い方法だと思います。人材集めを、どの様に行うのが、キーワードになると思いますが、それは、こちらも協力していきながら、頑張っていきたいと思います。



今自治会で一番必要としていることを、地域の方々と学べることに、期待がありました。専門の方のご指導の下、地域内外の異職業・異年齢の方々と目標を1つに真剣に議論出来たことがすばらしい体験であり、心の交流でもありました。地域の人材、資源を活用し仲間と力を合わせて作り上げてゆくことが地域づくりだと教えていただきました。皆様からいただいた提案を大事に、共に学んだ仲間とこれからの地域づくりに取り組んでゆきたいと思っています。

提案③ 子どもが消えた！！全員集合！公民館へ！

チーム：UP大謝名チーム

課題設定

子ども達の足が公民館から遠のいている。子ども会と他組織等との連携が上手くいっていない。

解決方法（提案）

子ども会主体で、察度の歴史を取入れたカチャーシー等を行い、地域で子どもを育てる意識を持つ。

実現するプロセス

地域づくり推進事業助成金を活用して外部講師を招いたり、他交付団体との交流を行う。



提案④ 広報委員会をつくらう！！

チーム：Discover

課題設定

多くの資源に恵まれているが、自治会の新規加入者が少ないのは、広報のあり方が課題と仮定した。

解決方法（提案）

様々な年代の方、かつ広報活動が好きな方を委員に取り込み、広報委員会を作る。

実現するプロセス

SNS活用講座等を公民館で行ない、委員を募集する。成果を見える化し、継続的な活動に繋げる。



提案⑤ 地域の宝を喜爆剤に！

チーム：A・Fチャンプルー

課題設定

県道34号線の反対側（3丁目）から公民館まで距離があり、足が運びづらい。3丁目には活動拠点が無い。

解決方法（提案）

「3丁目一の〇〇自慢大会」を開催し、地域住民が輝ける（活動）交流の場づくり、人材の可視化。

実現するプロセス

各班で住民の特技等を調査し、3丁目の資源マトリックスとしてまとめ、自慢アピール大会を行う。



ぎのわん地域づくり塾カリキュラム

「ぎのわん地域づくり塾」では、全7回（+スキルアップ講座）の講座にて、地域課題の仮説を立て、フィールドワーク、インタビューを通して課題を探り、上大謝名に貢献する企画提案を行う過程から、地域コーディネーターとしてのスキルを学んでいきました。

地域コーディネーターの人材像

地域づくりのプロセスを大切にし
地域内外の多様な人や組織、力、資源をつなぎ合わせて
「ひとりの困りごと」を「地域の困りごと」として
解決の動きをつくりだす人材

地域コーディネーターが住民と行う、地域づくりのプロセス



フィールドワーク

地域課題を調べる
～フィールドワークの作戦会議～

参加者 28名

情報提供

赤嶺 舞 氏（宜野湾市社会福祉協議会）
山内 一郎 氏（株式会社FMぎのわん）
百次 由美子 氏、仲尾次 清美 氏
（地域包括支援センターふれあい）

インタビュー、まちあるきから得たい情報を書き出し、整理しました。



第1回講座（公開）

日時 7月2日（月）
18:00～21:00
会場 男女共同参画支援
センターふくふく

公開講座

地域コミュニティーを運営する

参加者 69名

講師 櫻井 常矢 氏
（高崎経済大学 教授）
ゲスト 南 信乃介 氏
（1万人井戸端会議 代表理事）

櫻井先生からコーディネーターの役割等の講義と、南氏的那覇市繁多川地域における地域づくりの実例から、持続可能な地域づくりについて考えました。その後、参加者同士で小グループを作って話し合い、理解を深めました。



第2回講座

日時 7月27日（金）
19:00-21:30
会場 上大謝名公民館

第3回講座

日時 8月10日（金）
19:00-21:30
会場 上大謝名公民館

地域の課題研究

地域づくり実践の現場から学ぶ
<モデル地区上大謝名>の
地域課題と実践を知る

参加者 36名

情報提供
大城 ちえ子 氏（上大謝名自治会長）
金城 トヨ子 氏（かつら食品代表）
垣花 辰勇 氏
（元上大謝名公民館建設実行委員長）

塾生同士の自己紹介や、上大謝名の歴史や特徴、現在の地域活動、地域課題のお話しをお聞きました。



第4回講座

日時 9月6日（木）
19:00-21:30
会場 上大謝名公民館

上大謝名の地域課題の
「現象」と「原因」を考える

参加者 36名

情報提供

平仲 稚菜 氏（株式会社がちゆん）

上大謝名自治会と（株）がちゆんとの学習支援の取り組みをお聞きました。また、上大謝名の4つの困りごとの中から、チームで取り組むテーマを決め、困りごとの原因として考えられることを書き出し、整理していきました。



インタビュー

フィールドワーク
～地域インタビュー・
まちあるき実践～

参加者 22名

上大謝名住民 6名

講師 櫻井 常矢 氏 (高崎経済大学 教授)

民生委員、まちづくり結愛会、PTA等の皆さんをお呼びして、インタビューを行い、上大謝名の特徴や現在の活動等を教えていただきました。その後、まちあるきをしたり、情報をまとめていきました。



スキルアップ講座 参加者 35人

「企画」の立て方とファシリテーション

日時 8月19日(日) 9:00-15:30

会場 宜野湾市社会福祉センター

講師 宮道 喜一 氏 (まちなか研究所わくわく 事務局長)

地域づくりのプロセスを推進していく中で基礎となるファシリテーションと企画の立て方について学びました。地域づくり塾の話し合いで大切にしたいグラドルールの作成や、話し合いのデザインについて学び、グループワークにて実践しました。



第5回講座

日時 9月17日(月)
13:00-17:00

会場 上大謝名公民館

第6回講座

日時 10月6日(土)
9:00-15:30

会場 男女共同参画支援
センターふくふく

第7回講座

日時 10月21日(日)
9:00-16:00

会場 上大謝名公民館

塾生交流会

毎月第3水曜日に
開催中♪

課題解決に向けた企画づくり

地域の課題解決の企画づくり
5チームの中間発表

参加者 22名

上大謝名の地域課題を掘り下げ、課題解決に向けた企画づくりを各チームで進め、上大謝名に貢献する発表を目指して中間発表を行いました。塾生同士、発表チームに貢献する「質問」「意見」を付箋紙に記入したり、質疑応答を通して、最終発表に向けて企画をブラッシュアップしていきました。



上大謝名に向けた最終発表
修了式

参加者 受講生 29名
一般 9名

講師 櫻井 常矢 氏 (高崎経済大学 教授)

上大謝名をフィールドに約4か月間、学んだ成果を上大謝名の皆さんに向けて、5チームが発表しました。発表後には、上大謝名の方、大城会長、櫻井先生からコメントをいただきました。修了式にて修了証が授与され、本塾も修了となりました。



多彩な情報の交換会♪

日時 毎月第3水曜日
18:30-20:30

場所 ケアステーションマナ
参加費 100円 (お茶菓子代)

塾生交流会は、年代、属性も多彩なメンバー同士で公園を活用したイベントの計画・実施、まちづくり研修の計画等、楽しみながら交流しています。行けるときに行ける、ゆるく長くつながれる場です。3期生との交流会も、1、2期生の皆さんで企画してくれました♪



関係者からみた地域づくり塾

協働による地域づくりが進むことに期待



塾長 宜野湾市
松川 正則 市長

本市では、宜野湾市市民協働基本指針に「誇りと愛着の育まれるまちづくり」を掲げ、協働によるまちづくりを進めているところでございます。その実現のためには、一つの組織、団体では対応できない複雑化した地域課題を、様々な人や組織が関わり解決していくことが求められております。当塾は、そのような人や組織の「つなぎ役」となる人材の育成を目的として平成28年度より開催しております。今期の課程を修了した3期生の皆さまにおかれましては、今後も引き続き卒塾生とともに自主交流会や活動にご参加下さり、協働による地域づくりの担い手、つなぎ手として、ご活躍されることを期待しております。



宜野湾市
社会福祉協議会
多和田 眞光 会長

本塾では、地域の現状をモデル地区である上大謝名の住民から聞き取り、まち歩き等とおし地域の課題を見つけだし、解決に向けた企画提案までをコーディネーターの視点で企画提案をしていただきました。

塾生の皆さまには、こうした実践活動とおし地域コーディネーターとしての役割や技法などを多く学び習得されたと思います。

卒業された塾生の皆様には、今後の宜野湾市の地域づくりの担い手として大いに活躍されますことを期待しています。



高崎経済大学
櫻井 常矢 教授

3年目を迎えた今回の地域づくり塾では、年齢、職業、経験などが実に多様な皆さんが市内外から集結しました。そして、世代を越えた塾生同士の協力関係が強く印象に残るものとなりました。ともに集まるための時間を確保したり、熱心に議論したり、悩んだりを積み重ねる姿がありました。そうした塾生の根気と努力に一貫して支えられた塾であったと思います。最終日の発表内容を単なる提案にとどめることなく、上大謝名地域の皆さんとの具体的な地域づくりの実践に結びつくことを願っています。

この塾での出会いを各人にとっての大切な力として、ぜひこれからもご一緒に頑張っていきましょう。



まちなか研究所わくわく
事務局長
宮道 喜一 氏

第3期となる今期は、モデル地区となった上大謝名からの参加を多く得ることができました。学びの場を提供いただき、地域外からの塾生とともに議論し、外部からの視点と提言を受け止めてくださった上大謝名の地域の皆さまに感謝いたします。1期からの総勢93名の修了生が、宜野湾市の協働の地域づくりを進める核となることを期待しています。

ぎのわん地域づくり塾2018 実施概要

宜野湾市 企画部 市民協働推進課 市民協働係 TEL 098-893-4411 (内線 403, 422)